

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 池の平ホテル&リゾート					
代表者名	氏名	矢島 義擴	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県北佐久郡立科町大字芦田八ヶ野1596番地					
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業				
	中分類	75 宿泊業				
主たる事業の概要	ホテル業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	4174	4049	3983	3907	3826
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	9398	9116	8964	8752	8553
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	49		51	51	49
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	143				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

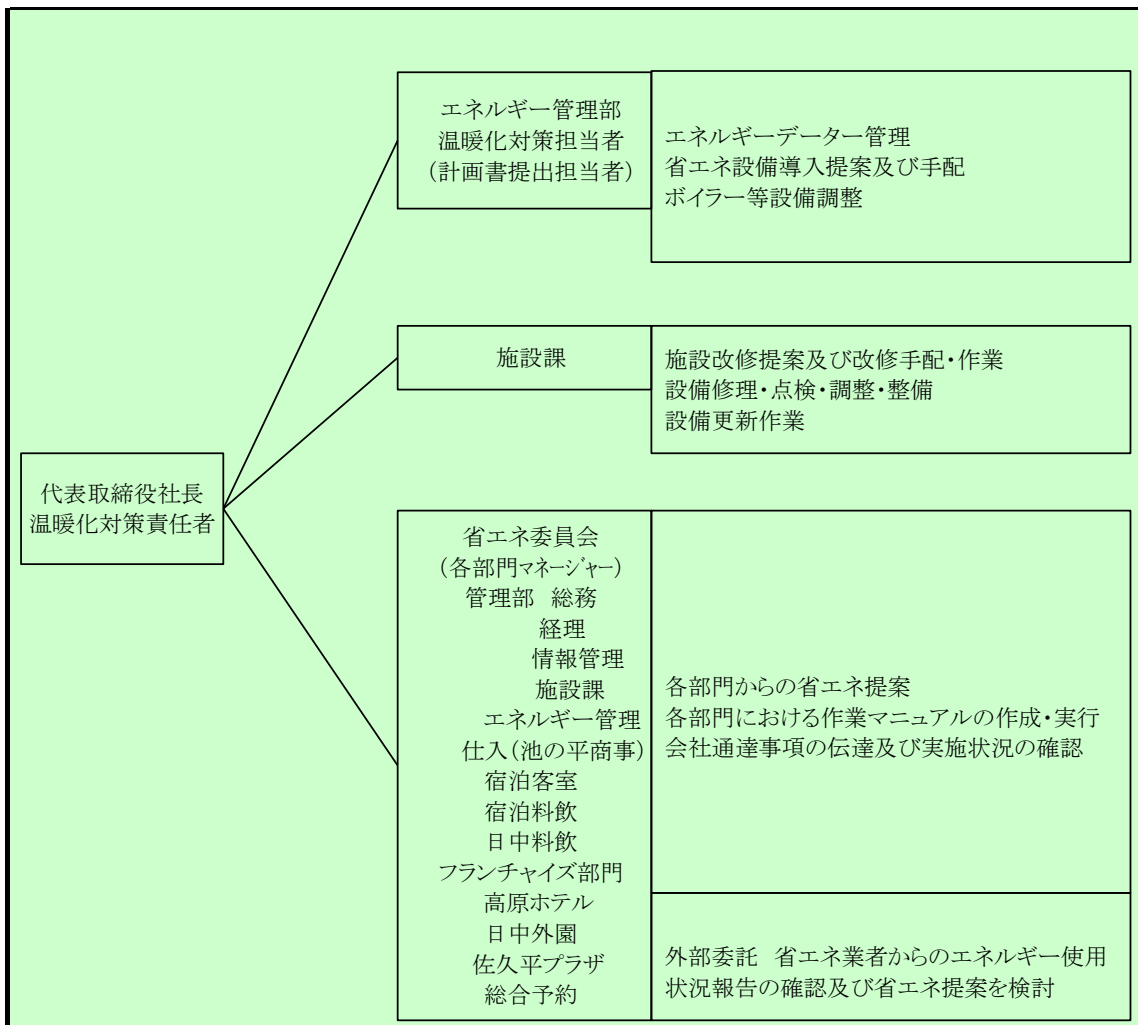
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.ikenotaira-resort.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

旧型設備の更新並びに施設改修による、省エネルギー効果の向上  
 施設運用方法の改善による省エネルギー化  
 (運用マニュアルによる管理)  
 エネルギー使用量及び費用の周知による省エネルギー・経費削減意識の向上

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ委員会 隔月1度開催

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	9,398	t-CO <sub>2</sub>	入場人数	135.94	単位	1万人	
28年度	調整後排出量	9,367	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	69.13	t-CO <sub>2</sub> /	1万人	
目標年度	目標排出量	9,116	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	67.00	t-CO <sub>2</sub> /	1万人	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.08	%		
目標設定に関する説明	更新時期を向えている設備機器の更新を計画的に実施し、エネルギー効率の向上を図る。気象等外的要因によるエネルギー消費量の変化が激しいことから、建物内外の断熱処理をおこない、安定した空調管理によるエネルギー使用量の削減を図る。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	8,964	t-CO <sub>2</sub>	入場人数	141.87	単位	1万人	
	調整後排出量	8,925	t-CO <sub>2</sub>	原単位	63.18	t-CO <sub>2</sub> /	1万人	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
29年度	削減率	4.61	%	削減率	8.60	%		
排出量等の増減理由	社員の総意としての省エネルギー運用が根付いて来た。各種機械類の更新及び設定変更によりロスが減って来た。冬季の気候が安定していた事もあり、暖房運転等が効率よく運用できた。							
第二年度	排出量	8,752	t-CO <sub>2</sub>	入場人数	174.12	単位	1万人	
	調整後排出量	8,721	t-CO <sub>2</sub>	原単位	50.26	t-CO <sub>2</sub> /	1万人	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
30年度	削減率	6.87	%	削減率	27.29	%		
排出量等の増減理由	池の平ホテルの新組織のフランチャイズ部門の設立によりコンビニエンスストアの電力量が上乘せされた。客室のリニューアルによるLED照明・新型エアコンの導入により電力量の削減することができた。冬季凍結防止対策のため給湯の無駄な使用をしていたが、配管工事等で是正して燃料の削減を実施することができた。							
第三年度	排出量	8,553	t-CO <sub>2</sub>	入場人数	173.60	単位	1万人	
	調整後排出量	8,513	t-CO <sub>2</sub>	原単位	49.27	t-CO <sub>2</sub> /	1万人	寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
31年度	削減率	8.99	%	削減率	28.72	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	客室のリニューアルの2期工事によりLED照明・新型エアコンの改修が行われ電力量の削減することができた。既存の客室・共用エリアの暖房を温水暖房からエアコンへ改修を行い灯油・重油の使用量の削減が行えた。高原ホテルの熱源機器の老朽化の伴い温水機等の更新を行い運転効率の向上・自動制御の復旧により無駄な昇温がなくなり灯油使用量の削減ができた。							

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	143	t-CO <sub>2</sub>			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	110103管理台帳の整備	29	2		
2	エネ起	110104目標設定、実行計画の策定	29	10		
3	エネ起	110205配管系統図等の整備	30	2		
4	エネ起	110301計測器の設置、運用	30	27		
5	エネ起	120502流量、圧力を可変流量制御に変更	30	47		
6	エネ起	140202給水流量、圧力の調整	30	2.6		
7	エネ起	150103高効率変圧器への更新	31	0.783		
8	エネ起	150201照明器具及び電球を省エネタイプに更新	31	3.84	31	3.3
9	エネ起	160202窓に断熱フィルムの設置	30	3.84		
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	31		39	31	40
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上								
1,500kl以上 3,000kl未満	1	6,362	1	6,045	1	5,770	1	5,712
1,500kl未満	3	3,036	3	2,919	4	2,982	4	2,841
合計	4	9,398	4	8,964	5	8,752	5	8,553

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	49	51	51	49
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	パート、アルバイト社員のマイロバスによる送迎 短期アルバイトについては車両の持ち込みを原則禁止 従業員330人中(短期アルバイトを含む)、150台約半数がマイカー通勤
公共交通機関の利用促進	お客様からの宿泊予約等のお問い合わせの際に、交通機関のご案内
来客者の交通対策	最寄交通機関からのお客様の自社バスによる送迎 電気自動車充電設備を設置し、電気自動車ご利用の促進を図る
物流の合理化	仕入れルートを集約する事により仕入れコストの低減及び搬入車両台数の削減を図る。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	施設内各所において浄水(井戸水)の漏洩修繕及び浴場・温水プール補給水の調整を実施し、井戸水組み上げに伴う環境負荷の低減及び下水排水量の削減を実施中。
第一年度実績	前年度に続き水道漏洩調査等を実施し修繕の結果、大幅な水道使用量の削減を図れた。これにより電力使用量の削減となると共にポンプ稼働時間の調整出来る物については夜間電力帯に稼働が多くなる様に調整を行った。
第二年度実績	長年に渡り続いていた大浴場ろ過循環設備の漏水を発見して燃料の使用量の削減を行うことができた。客室のリニューアルによりLED照明の導入、最新機種のエアコンを導入して省エネを図った。
第三年度実績	露天風呂の檜風呂の経年による漏水を止めたことになり補給水量の削減、並びに昇温用ボイラーのLPガスの使用量の削減のため補修工事を実施した。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	平成27年佐久平プラザにてA重油から都市ガスへの燃料転換を実施 平成26年池の平ホテル&リゾートにて照明設備のLED化、温水ボイラー燃料をA重油から灯油に転換	611
その他	厨房機器の老朽化により機器の更新を行ったことによりLPガスの削減ができた。	29